



令和7年度 第2回 いいだ未来デザイン会議

社会減の緩和に向けて

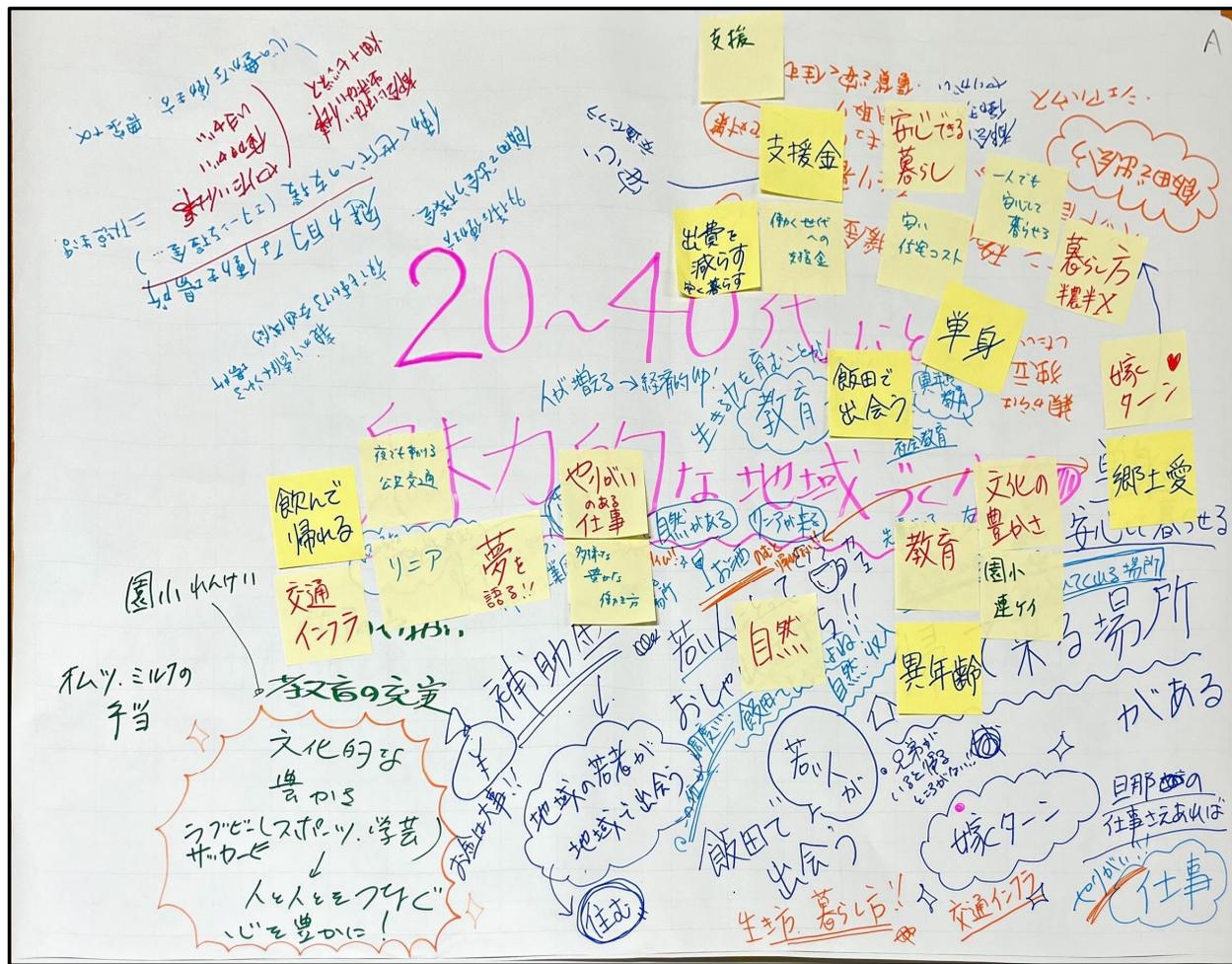
— 20~40代にとって魅力的な地域づくりに必要なことは —



社会減の緩和に向け、20~40代にとって魅力的な地域づくりに必要なことを検討するためのグループワークの結果 令和7年度 第2回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループA

— グループワークの経過 —

— 意見まとめ —



- 子育てと高齢者間の世代の支援金がある
- 単身一人暮らしでも安くて安心して暮らせる
- 郷土愛を育む飯田の魅力を伝える教育がある
- 若い人がやりたい文化活動（スポーツ・音楽・ダンスなど）ができる
- お金だけではないやりがいのある仕事（半農半Xなど）ができる
- 飲んで帰れる交通インフラがある
- 夢を語れる町！「リニアが来るんだぜ！自然あるんだぜ！みんなも来たいだろ！」

社会減の緩和に向け、20~40代にとって魅力的な地域づくりに必要なことを検討するためのグループワークの結果

令和7年度 第2回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループB

— グループワークの経過 —

— 意見まとめ —



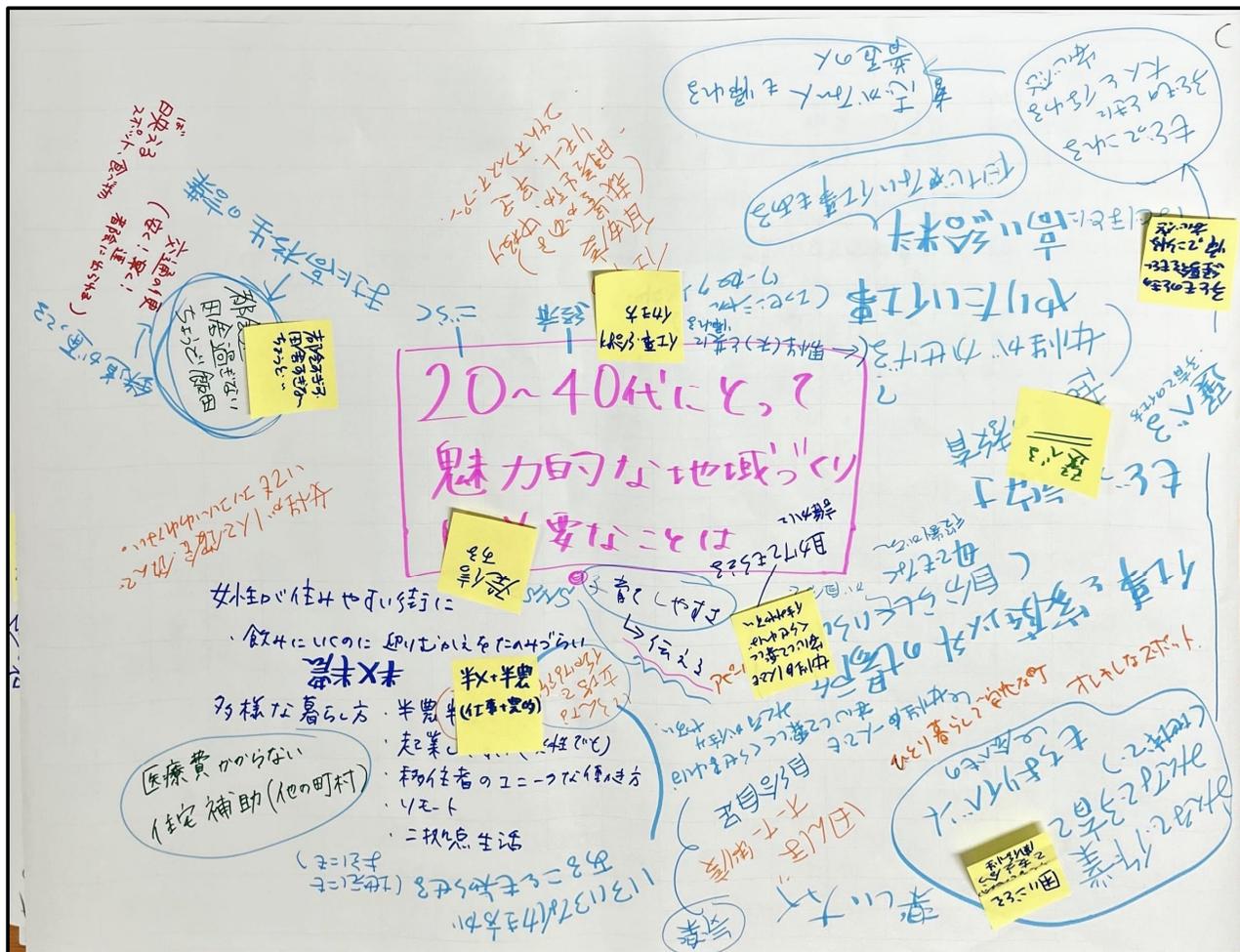
- 飯田の魅力を充分に知ってもらう、もっとPRを頑張る！（焼肉、ロックフェス、適度に田舎）
- 20~40代（特に女性）に魅力的な就労環境を整える！
- 育児、教育環境をもっと充実！（四年制大創設、こどもの医療費）

社会減の緩和に向け、20~40代にとって魅力的な地域づくりに必要なことを検討するためのグループワークの結果

令和7年度 第2回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループC

— グループワークの経過 —

— 意見まとめ —



- 半X+半農（仕事がありつつ、+αで農的なことが出来る）
- こどもの時の経験をもとに、大人になっても戻ってこられる安心感の飯田
- 都会過ぎず、田舎過ぎない丁度いい飯田
- 地域のメンバーがそれぞれの家庭の困りごとに寄り添って支える関係性
- 女性一人でも安心して楽しく暮らせれば、みんなが住みやすい雰囲気町になるのではないか

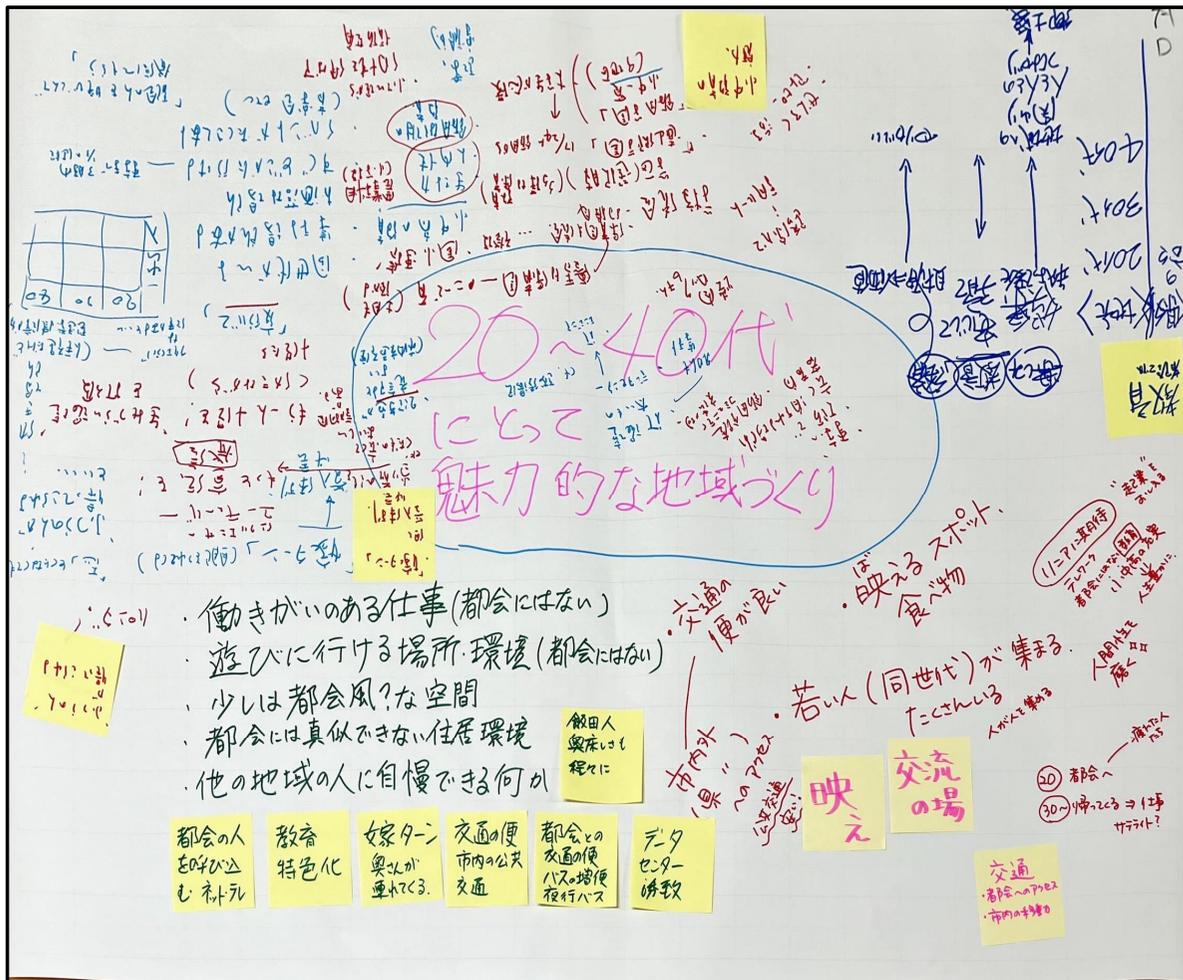
☆ これらを効果的に発信

社会減の緩和に向け、20~40代にとって魅力的な地域づくりに必要なことを検討するためのグループワークの結果

令和7年度 第2回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループD

— グループワークの経過 —

— 意見まとめ —



- 同世代が集まり交流できる場所
- 交通アクセスのよさ
- 映えるスポットや食べ物
- 情報発信力
- 豊かな人間性を育む教育
- 働きがいのある仕事

社会減の緩和に向け、20~40代にとって魅力的な地域づくりに必要なことを検討するためのグループワークの結果
令和7年度 第2回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク まとめ



住みやすいを実現する
インフラ整備



飯田の魅力我自認する
環境整備



やりたいが実現する
就労環境



飲んで帰れる公共交通



人と人をつなぐ
文化活動への参加



起業しやすく
応援される

リニアを見据えた/都会から人
を呼び込む 2次交通

アンコンシャス・バイアス
の解消

半“X”半農



自然豊かな環境での生活



育児・教育環境の充実

戻ってきたいと思える
経験・環境

意識が高くない
も、普通の人
が普通に暮らせる

4年制大学の設置



女性が単身で安心して
暮らせる



郷土愛を育み
夢を語れる

外部評価による
魅力認識